

シルクロード

児玉 寛嗣

中国の西北端に位置する新疆ウイグル自治区(面積は日本の4倍以上、人口約2500万人)で人権侵害が起きているとの報道がある。住民は遊牧民であるウイグル族だが、政府は同化政策という名のもとに漢民族を多く移住させて住民を迫害しているというのだ。イスラム教徒が多く回教寺院も多いが、地震があると倒壊の恐れがあり危険だとの口実で次々にそれらを破壊している。さらに住民はすべてイスラム過激派だとして強制収容所に入れて働かせるということもやっている。海外に知れるのを警戒して自治区への外国人ジャーナリストの立ち入りは制限されている。

ここは東西の交易路、シルクロードのひとつである天山南路の通り道。敦煌からカシュガルを通りパミール高原に向かう。紀元前から交易路として栄え、絹などの品がここを通過してローマを初め、ヨーロッパ各地やペルシャに運ばれた。絹は西洋では珍しく、ローマでは貴族がシースルーの薄い絹の衣装を愛人に着せていたそう。それで風紀が乱れてローマ帝国の没落に繋がったという説もある。時代が下り、イスラム教がシルクロードを通過して拡がり新疆のウイグル族も信仰するようになった。

シルクロードの名は地理学者ヘディンが書いた本の書名となったことから有名になった。この本は1930年代に書かれた。国民党政府の依頼で道路建設計画策定のための自動車数台で交易路を踏査した時の様子を綴ったもの。中央政府に刃向かう反乱が各地に広がっており、跋扈していた豪族に監禁されたりもした。車が故障し立ち往生したり、水嵩の増した川に落ちて抜け出すのに苦労したり、急な崖の上を走るなどスリルのある旅でもあった。背に荷を積んだラクダを率いた隊商と出会い、廃墟と化した宿場跡を目にするなど2000年前を体験したとも書いてあった。

人権問題にも強い関心を寄せるバイデン政権が誕生したことで中国政府へ抗議するだろう。中国政府もそれに応じて、シルクロードの歴史とともに生きてきたウイグル族の迫害を止めることを期待する。